

植物の生存戦略とクマの 出沒、知っておくべき 「森の理」と郡上の流儀

昨年から、全国のニュースでも連日のように「クマの出沒」が取り上げられ、郡上市内でも多くの目撃情報が寄せられています。

まず知っておきたいのが、クマの生態です。クマは植物を中心とした雑食性で、季節の恵みを食べながら生きる賢い動物です。春は山菜、夏は昆虫や果実、秋はドングリなどの堅果類を食べ、冬眠に備えます。木登りや水泳も得意で、基本は単独行動ですが、子育て期には親子で行動します。

本来クマは臆病で、人を避けて行動します。しかし、子育て期に親子の間に人が入り込んでしまうと威嚇行動をとることがあり、また食べ物不足する年には人里に下りてくることもあります。今年、郡上市周辺では堅果類が凶作となっており、これが出沒増加の大きな要因と考えられています。



郡上市大和町大間見の山林にて
(2025/10/3 自動カメラ)

これは植物たちの生存戦略でもあります。毎年同じ量のドングリを落としていると、すべて動物に食べられてしまいます。そこで、ある年は実を減らし動物の数を抑え、翌年に多くの実をつけることで、自らの子孫を残そうとするのです。

クマ対策は、岐阜県内でもドローンによる追い払いや威嚇などが取り組まれています。凶作の年には空腹のクマが必ず行動を起こします。だからこそ、平時から森を理解し、野生動物と向き合える担い手を育ててお

くことが重要です。郡上市には古くから狩猟文化があり、現在も市内には300名を超える狩猟免許所持者がいます。若い狩猟者も増え、少しずつ次の世代へ技術と知恵が受け継がれています。その結果、県内で鳥獣の捕獲頭数の多い自治体の一つとなっています。

ただ最後に忘れてはいけな
いのが、いただいた命への感謝と供養です。郡上市内には獣肉の解体処理施設が多数あり、道の駅などで食肉やペットフードとして販売されています。また毎年、郡上漁協や猟友会による供養祭も行われています。命を無駄にせず、敬意をもって向き合うこと。これからも自然を知り、学び、生かしながら、自然豊かな郡上市で暮らし続けていきたいものです。

【関】 ぎふ鳥獣対策ネットワーク

代表 興膳健太

050・7115・5203

kouzen@metamori.org

市民のみなさん・郡上を離れている人や学生とその保護者へ

市内企業の
魅力をご紹介します！

郡上で働こ！

VOL.6

「better than yesterday 昨日の自分を越えよう」

「強みを教えてください」
困った時に自然と支え合えるチームワークがあります。また異形加工に対応できる技術力と、素材から完成までを担う一貫生産体制により、ものづくりの面白さと達成感を実感できます。仕事はお金を稼ぐことだけではなく、「やりがい」や「成長」を感じられることが大切です。ボルツ(株)岐阜工場には、その答えを一緒に探しながら成長できる環境があります。

「メッセージをどうぞ」
高校時代に「郡上未来塾」でボルツを知り、雰囲気の良い工場に組み込まれた。自分たちの製品が自動車のエンジンなどに組み込まれるのを見て、ものづくりのやりがいを感じます。またリーダーから目標通りできたね」と声をかけてもらえた。時に「仕事」の本当の意味が分かってきました！
(松下アシュリーさん)

ダイハツ工業の子会社
自動車の重要部品を製造しています



若手社員の松下アシュリーさん

ボルツ(株)岐阜工場

《お問合わせ》
郡上市雇用対策協議会
☎67-1808

郡上市雇用対策協議会
Instagram で情報をキャッチ→



ボルツ株式会社
ホームページはこちら→

